

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

<b>1 前年度 評価結果の概要</b>	<p>○学力の向上については、学力向上対策評価シートをもとに全職員で共通理解を図り、校内研究の取組の中で共通実践を行うことができた。12月実施の県学習状況調査の結果や話し合い活動に対する児童アンケートからも、一定の成果を挙げることができたと考えられる。</p> <p>○心の教育については、いじめ・いのちを考える日、児童を教師全員で細かく見ていく、児童アンケートでの実施把握、発見した事案には全職員で共有し丁寧に指導を行う等、学校・児童・保護者が一体となって「いじめを許さない」機運を高めてきた。地域と連携しての体験活動の推進に関しては、「子供の心を豊かにしている」と評価された。コミュニティスクール移行で、さらに地域との連携を深め、取組を継続させたい。</p> <p>○健康・体づくりについては、コロナ禍の中で児童の運動量については課題が見られた。家庭や地域と連携して、望ましい生活習慣の形成や児童の安全に関する資質・能力の育成に努めていきたい。</p> <p>○時間外の校内勤務時間を月に45時間を目指して取り組んだ。年間平均すると半数程度の教員が守れている。次は、定時退勤日を100%守ることを目標にしたい。</p> <p>○小中一貫教育については、授業参観が中止となり、教科「日本語」の授業公開数は減ってしまったが、ホームページや通信にて情報を発信することができた。今後も鳥栖西中学校3校で連携を深めていく。</p> <p>○特別支援教育の充実については、全ての教師が「特別支援教育への理解を深め、指導に生かしている」とアンケートに答えている。今後も継続して特別支援教育の充実に取り組んでいく。</p>
----------------------	---

<b>2 学校教育目標</b>	「ふるさとを誇りに思い、やさしく・かしこく・たくましく生きる麗っ子の育成」
-----------------	---------------------------------------

<b>3 本年度の重点目標</b>	<p>◎ 子どもの「心」を育む      ◎ 子どもの「学び」を育む      ◎ 子どもの「体」を育む</p> <p>○ 学力向上      ○ 小中一貫教育の推進      ○ 教科「日本語」の充実      ○ 特別支援教育の推進      ○ 授業づくりのステップ1・2・3を活用した授業改善      ○ コミュニティ・スクール定着・推進</p> <p>○ GIGAスクールの更なる推進      ○ 新しい生活様式での教育活動の実施（新型コロナウイルス感染症対策）</p>
-------------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度（評価）	進捗状況と見通し	達成度（評価）	実施結果	評価	意見や提言	
	取組内容	成果指標（数値目標）								
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・学年グループを中心に教職員間でマイプランを共有し、取り組み状況を確認するとともに、共通実践を校内研究の柱にすることにより取組の促進を図る。							【学び育てチーム】
	○学習内容の定着と活用向上のための授業実践	○「目的や意図に応じて自分の考えを書くことができる」に、肯定的な回答をする児童の割合70%以上	・「授業づくりのステップ1・2・3 Vol1・2」を踏まえ、日々の授業改善に取り組む。 ・児童が自分の考えを書いたり話したりする活動を仕組み、その際に視点や条件を与える。							【学び育てチーム】
●心の教育	●児童が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳や人権学習等を通して、子供の豊かな心が育てられていると、アンケートにて肯定的な回答をした保護者80%以上	・人権学習、人権集会を児童の発達段階に応じて実施し、人権意識の向上を図る。 ・授業参観で道徳の授業公開を年に1回全学級で行い、家庭と連携を図って豊かな心を身に付けられるようにする。							【心育てチーム】
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等（いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事業対応等）について組織的対応ができていると回答した教師90%以上	・いじめアンケートを月に1回実施し、早期発見へつなげる。 ・いじめの対応についての研修・会議を年間2回以上行う。							【心育てチーム】
	◎ふるさと自然や地域の人とふれあう体験活動の充実	◎体験活動や地域の方々とのふれあいを通して、子供の豊かな心が育てられていると、アンケートにて肯定的な回答をした保護者90%以上	・地域の方々との共に行う体験活動の年間計画の作成と見直しを年間を通じて行い、次年度へ引き継ぐことができるようにする。 ・「ふるさと祭」当日及びふれあい祭へ向けての準備に計画的に取り組む。							【心育てチーム】
●健康・体づくり	①「運動習慣の改善や定着化」	①授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒65%以上	・学級で全員一緒に遊ぶ日を設定したり（週1回程度）昼休みや業間休みには、外遊びの声をかけをしたりする。							【体づくりチーム】
	②「望ましい生活習慣の形成」	②「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣が身に付いている児童80%以上	・「麗っ子ががんばり表」を活用し、継続的な指導を行う。							
	③「安全に関する資質・能力の育成」	③児童の交通事故を0（ゼロ）にする。	・交通安全教室を行ったり、校内外の危険箇所を知らせたりすることで、交通規則の遵守と児童の安全に関する意識を高める。							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日を設定する。（毎週金曜日18:00を厳守） ・時間を生み出す工夫や効率化を図り、月間時間外校内業務の45時間以内を目標にする。							教頭・主幹教諭
	○負担感、多忙感の解消	○学級経営や分掌事務において、チームとしての取組や組織化が進み、個人への負担感、多忙感が減少したと回答した教師80%以上	○報告、連絡、相談を密にし、課題に対してチームで取り組み組織化を進めたり、児童や保護者との話し合いは複数対応を原則とし統一した方針で対応したりすることで、多忙感や負担感を減らす。							教頭・主幹教諭・指導教諭

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容		具体的取組	進捗度（評価）	進捗状況と見通し	達成度（評価）	実施結果	評価	意見や提言	
	重点取組内容	成果指標（数値目標）								
★小中一貫教育の充実	★教科「日本語」の実践充実	★保護者・地域等に対する教科「日本語」の授業公開学級率80%以上 ★保護者等に対する教科「日本語」に係る情報を年間3回以上公開した学級率80%以上	・授業参観や学校だより、学年・学級通信等を通して、教科「日本語」の実践を保護者や地域に広める。 ・各学年、教科「日本語」の取り組みに関連した内容を廊下に掲示する。							主幹教諭・指導教諭
○特別支援教育の充実	○個に応じた支援体制の確立のための教員の専門性と意識の向上	○特別支援教育に関する専門性が向上したと回答した教員80%以上	・特別支援教育に関する研修会の実施（5月・8月・1月） ・ケース会議の開催、情報共有							【特別支援学級担当】

●…県共通 ★…鳥栖市共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

<b>5 総合評価・次年度への展望</b>	
-----------------------	--